

平成27年度 事業計画書

平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報処理産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および国際プロコン大会の開催、情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナーの開催などを計画する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日程	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
高専プロコン運営事業	全国高専プロコンの運営(予選)	6月	東京都	30名	応募学生・教員ならびに審査委員700人	13,600
	全国高専プロコンの運営(本選)	10月	長野県長野市	20名	全国高専からのコンテスト出場学生・教員及び産業界からの参加者一般市民約1000名	
国際コンテスト運営事業	国際プロコン大会開催	10月	長野県長野市	4名	国外からの参加学生・教員20名	5,760
産学連携事業	情報産業界と高専教育界の連携を図るためのセミナー開催	1月	長野県長野市	2名	高専教職員・学生、大学生、企業など約160名	30
	高専プロコン連携シンポジウム	4月	鳥取県米子市・島根県松江市	15名	高専教職員など約300名	50
	ICTに関する実践のセミナー開催	11月	未定	3名	高専教職員及び高専学生など約70名	50
普及啓発に関する事業	ホームページ等による交流活動の啓発	随時	法人事務局	2名	情報産業界、教育界全般及び一般市民など不特定多数	0

全国高等専門学校

第26回プログラミングコンテスト開催要項 (案)

1. 主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会 (国公立高専の連合組織)
2. 共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会(NAPROCK)
3. 後援 (予定)
文部科学省, 総務省, 経済産業省, 長野県, 長野県教育委員会, 長野市、長野市教育委員会, 公益財団法人日本教育公務員弘済会長野支部, 長野商工会議所, 公益財団法人長野県テクノ財団, 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会, 一般社団法人情報処理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 教育システム情報学会, 独立行政法人情報通信研究機構, オープンデータ流通推進コンソーシアム, 株式会社BCN, 日刊工業新聞社, 信濃毎日新聞社, NHK, 信越放送 (SBC), 長野工業高等専門学校技術振興会, 長野工業高等専門学校後援会, 長野工業高等専門学校同窓会
4. 主 管 校 長野工業高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生 (専攻科生を含む)
6. 協 賛 特別協賛・一般協賛 20社以上を予定
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
 - (1) 課題部門 「防災・減災対策と復興支援」をテーマにした作品
 - (2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
 - (3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間 : 平成27年5月22日(金)～5月29日(金)
9. 予選(書類による審査)
日 時 平成27年6月27日(土)
会 場 東京都立産業技術高専品川キャンパス (東京都品川区東大井1-10-40)
10. 本選(プレゼン・デモ等による審査, 競技は対抗戦)
日 時 平成27年10月11日(日)～10月12日(月)
会 場 ホクト文化ホール (長野県長野市若里1-1-3)
11. 審査委員(予定)
神沼靖子 (一般社団法人情報処理学会 フェロー) 先生 審査委員長をはじめ10数名
12. 表彰
 - (1) 課題・自由部門(各々)
最優秀賞 優秀賞 特別賞
 - (2) 競技部門
優勝 準優勝 第三位 特別賞
 - (3) 最優秀賞および優勝チームには, 文部科学大臣賞, 情報処理学会若手奨励賞が授与される。
13. 備考
本大会と同時に NAPROCK 第7回国際プログラミングコンテストを実施
NAPROCK 公式サイト : <http://www.procon.gr.jp/>
高専プロコン公式サイト : <http://www.procon.gr.jp/>
高専プロコン Twitter 公式アカウント : @KosenProcon

「NAPROCK 第7回国際プログラミングコンテスト」大会概要(案)

(NAPROCK 7th International Programming Contest)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
3. 後援 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
4. 協賛 全国高専プログラミングコンテストに協賛する会社から 3～5 社程度
5. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)
大学生(競技部門のみ募集, 予選を行なう場合がある)
海外：大学生(国内において予選等により選抜された者,
もしくは各高専等が受入窓口となり支援する者)
6. 募集部門(高専プロコンに準じる)
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。
 - (1) 課題部門(「防災・減災対策と復興支援」をテーマにした作品)
 - (2) 自由部門(自由なテーマで独創的な作品)
 - (3) 競技部門(与えられたルールによる対抗戦)
7. 募集期間 2015年5月22日(金)～2015年6月12日(金)
8. 審査方法・日程
方法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査, 競技部門は対抗戦
日時：2015年10月11日(日)～12日(月)
場所：ホクト文化ホール(長野県長野市若里1-1-3)
9. 審査委員 全国高専プログラミングコンテストに準じる。
10. 表彰

(1) 課題・自由部門(各々)	国際最優秀賞 Grand Prize	国際優秀賞 Second Prize	国際特別賞 Special Prize
(2) 競技部門	国際優勝 Champion	国際準優勝 First-Runner-up Prize	国際特別賞 Special Prize
11. 応募要項
<http://www.naprock.jp/IntProcon/> (NAPROCK 国際プロコンページ)
<https://www.facebook.com/naprock2008> (NAPROCK facebook ページ)
<http://www.procon.gr.jp/> (プロコン公式サイト)
12. 応募先・問合せ先
naprock-procon@tokyo-ct.net

13. 大学生のオープン参加について

- ・公募とするが、長岡・豊橋両技科大へは別途応募を打診する。
- ・高専チームに準じて応募書類の提出を求める（日本語）。
- ・大学内で指導教員を立ててもらいが、引率の必要はないこととする。
- ・優勝、準優勝の場合は規定通り表彰するが、特別賞の対象とはしない。
- ・参加チーム数に上限を設け、これを超える応募があった場合は予選を行なう。
予選は高専プロコンと同時に行なう。
- ・大学生向けのアナウンスを別途用意し、Webに掲載する。

14. 海外チームの参加について

- ・NAPROCK が招聘を行なうチーム以外が参加する場合の経費は、原則として参加校の自己負担とする。
- ・会員校が海外チームを招聘する場合は、NAPROCK から数チームに対して一定額を支援する。
- ・会員校による招聘支援に関する詳細については別途、NAPROCK が定める実施要項に準じる。
- ・会員校は、当該海外チームのサポートを、プログラミングコンテストの内容に関する支援や滞在中の生活面でのケアを含めて、担当者を設けた上で責任を持って実施する。また、本選期間中に担当者がチームに同行・通訳を担当する。

15. その他

- ・全国高専第26回プログラミングコンテストと同時開催とする。
- ・高専プロコン実行委員会および主管校が運営に協力する。

広報活動事業概要（案）

1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知する。

2. 事業の概要

2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行う。

(1) プロコン事業

- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理
- メディアスポンサーの募集

(2) 国際プロコン事業

国際プロコン運営支援事業の運営に際して、情報の正確性とスピード化を通して国際チーム受け入れを円滑化するため、本格的にホームページの英語版の掲載を進める。

2-2 会員の入会促進

- 会員募集要項の掲載に留まらず、会員に対して今後計画予定の事業（情報産業界と高専教育界の連携を図るためのシンポジウム等）に対して広く理解を求め、活動協力を啓蒙する。
- 高専教員を対象として、個人会員の入会を促進する

2-3 その他

- 連合会ホームページとの連携を進める。
- コンテンツの見直しを行う。

産学連携事業概要（案）

1. 産官学連携事業の狙い

ICTに関する産業界、官庁、全国の高等専門学校との連携を促すためのサポートを行う。内容はICT業界に関する講演会、産官学連携の実践講座、学校においてICT業界の業務内容、必要な知識、技術などについての説明を行う場のサポートなど、産官学の交流の場を設ける。GI-netによるインターネット中継を使った高専プロコン連携シンポジウムを行う。

- (1) NAPROCK 主催、あるいは共催の講演会
- (2) 地域の高専地区の近くで NAPROCK がサポートする交流の場の提供
- (3) 希望高専を募り、その高専で ICT に関する実践講座を行うか、サポートを行う。

このため産業界の方、学識経験者、実務経験者、高専 OB、高専教員 OB の方の協力を得ながら、広く高専学生、高専の先生、関係者の方等に有意な実践知識を持ってもらうことを狙う。

2. 事業内容

1) ICT人材育成セミナーの共催

日 時：平成 27 年 1 月 14 日

会 場：国立長野高専 100 番教室

講演名：Ruby 開発の裏話 ～ICTを担う次世代の若者に向けて～

講演者：まつもと ゆきひろ氏（Ruby 開発者）

（株）ネットワーク応用通信研究所フェロー

一般財団法人「Ruby アソシエーション」理事長

楽天株式会社楽天研究所フェロー

Hiroku Chief Architect

主 催：特定非営利活動法人 長野情報通信研究所

共 催：信越情報通信懇談会

特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

後 援：総務省信越総合通信局

2) 高専プロコン連携シンポジウム実施

日 程：平成 27 年 4 月（予定）

内 容：GI-net によるインターネット中継で開催

3) 実践セミナー実施

日 程：平成 27 年 11 月（予定）

内 容：高専 2 校をベースとして ICT に関する実践セミナー